

有機化学C (Organic Chemistry C)

担当教員名:教授 上西 潤一、准教授 橋本 貴美子

【概要】

有機化学A、Bに引き続いて、官能基別に有機化合物の反応と合成について講述します。また、教科書には十分に収録されていない複素環化合物についても講義します。具体的には、最初に窒素、硫黄、酸素を含む複素環状化合物について学習し、続いて有機化学で最も大切なカルボニル基およびカルボキシ基の化学についてその誘導体も含めて学習します。

【授業の一般目標】

有機化学では元素や官能基の性質をよく理解し、それを使いこなせるようになることが大切です。本講義では、典型的な複素環化合物の反応と合成が説明できるようになること、カルボニル基を中心とする炭素カチオンの化学と炭素アニオンの化学がいろいろな角度から理解できるようになることが目標です。時間の関係上、講義が教科書の全てをカバー出来るわけではありません。講義を聞いた上で教科書や参考書を読んで、自分で理解することが大切です。これまでの積み重ねが不十分な人は、自分で努力して自分を持ち上げてください。本講義は専門基礎演習Cと大いに関連しています。講義後に復習し、専門基礎演習Cでその内容を再確認することで深い理解に至ることを期待しています。楽をしていては理解できません。努力しましょう。

【成績評価方法・基準】中間試験および定期試験の成績に加えて、出席点を考慮する。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

質問は講義終了後にも可能であるが、主に専門基礎演習Cにおいて受ける。また、中間試験および定期試験の直前に、質問日をもうけ2－4時間程度教室で質問を受け付ける。また、全定期試験終了後に有機化学Cの定期試験について解説を行なう。再試験の可能性の高い者はこれに必ず出席すること。